

# 呉医療センターで診療を受けられる皆様へ

(精神科外来・病棟)

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問合せ先にご連絡ください。

① 該当者	2019年5月1日～2019年7月31日の期間に当院にて『残余脳脊髄液を用いた精神疾患における生物学的マーカーの開発』『血液を用いた精神疾患における生物学的マーカーの開発に関する研究』に参加した精神疾患患者さんのうち、他の研究への検体の二次利用について同意をいただいている方。			
② 研究課題名	免疫複合体抗原の網羅的解析による精神・神経疾患の疾患特異的な免疫反応点の探索			
③ 実施予定期間	2019年9月～2024年3月			
④ 実施機関	呉医療センター・中国がんセンター			
⑤ 研究代表者	氏名	大山 要	所属	長崎大学生命医科学域(薬学系)
⑥ 当院の研究責任者	氏名	竹林 実	所属	呉医療センター・中国がんセンター 精神科
⑦ 使用する試料	<p>・①に記載している当院で実施中の研究において収集した検体の残余を使用</p> <p>・収集する診療情報は下記の通りです。</p> <p>脳脊髄液、血清、性別、生年月日、疾患名、合併症、前治療、喫煙の有無、統合失調症については陽性・陰性症状・認知機能障害の有無とNMDA抗体ならびにVGKC検査の結果、パーキンソン病については睡眠障害や非運動症状、HLAタイプ、投与薬剤、治療効果、白血球数、CRP</p> <p>※使用する検体および上記診療情報は、研究終了後最低3年間、可能な限り長期間厳重に保管され、その後適切な方法で破棄されます。</p> <p>残余検体は当院にて、データは研究事務局および当院の研究担当者両方において保管されます。</p> <p>※当院の研究者、研究代表者、研究事務局などが収集した情報を取り扱います。</p>			
⑧ 目的	パーキンソン病や統合失調症などの神経・脳疾患では、脳での免疫的な異常が病気の原因として注目されています。しかし、どのような免疫異常が脳でおき、疾患ごとにどう異なるかわかっていません。こうした点がわかれば、有効な治療法の開発につながります。この研究では、血液と脳脊髄液を使って脳以外と脳内でどんな免疫反応がおきているかを調べます。			
⑨ 方法	<p>本研究では、種々の精神・神経疾患に特異的な免疫複合体抗原が疾患ごとに存在するか否かを脳脊髄液と血清を使って調べます。脳脊髄液は脳と脊髄を循環する体液で脳内のわずかな変化を調べるのに最適な試料です。一方、血液は成分が非常に多く全身を循環するため、脳内の変化を解析するには不十分な試料といえます。①に該当する方の残余検体を研究代表施設に送り、検体解析が行われます。</p> <p>検体解析と⑦に記載した臨床情報解析の結果を照らし合わせ、免疫反応に関する検討を行います。</p> <p>検体送付先:長崎大学生命医科学域(薬学系)・准教授 大山 要</p>			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日	2019年9月 日		
	院長承認日	2019年9月 日		
⑪公表	個人情報保護のうえ、研究成果を学会や医学論文などに発表することがあります。			
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は一切使用しません。			
⑬知的財産権	将来、この研究の成果が得られ、知的財産権が生じる可能性もありますが、その権利は研究者もしくは所属する研究機関に帰属します。			
⑭利益相反	本研究では、利害の衝突は一切生じません。			
⑮問い合わせ	連絡先	大盛 航	電話	0823-22-3111(代表)
	呉医療センター・中国がんセンター 精神科			

呉医療センター・中国がんセンター院長